



2017年叙任式・祝宴に参加しました！

文・写真 深澤朋子（1995年シュバリエ、2011年オフィシエ）

2017年11月14日火曜日、ロイヤル・パークホテル（東京・箱崎）にて開催された2017年度フランスチーズ鑑評騎士の会日本支部の叙任式・祝宴に、参加しました。

叙任式は17時30分から「有明」の間にて深い緑色の生地入金糸の入った礼装マントと羽根飾りの帽子を身にまとった江上栄子理事長他理事全員お揃いになった壇上で、19名のシュバリエと5名のオフィシエ、1名の名誉シュバリエの叙任式が格調高く執り行われました。

「春海」の間に会場を移し祝宴です。旗手の森克明グランオフィシエに続き理事の皆様、新叙任者達が後見人を伴って、会場の大きな拍手に迎えられながら入場、ゆっくりと会場内をお披露目の行進をしたのちステージに上がりました。

江上栄子理事長から、フランスチーズ鑑評騎士の会の趣旨と新叙任者の方々をお迎えするご挨拶があり、新叙任者の皆様一人ずつ紹介され、シュバリエ叙任者を代表してチェスコ株式会社の佐藤和夫氏、名誉シュバリエの吉澤公寿氏がご挨拶されました。



シュバリエには、いつもおいしいバゲットを買わせていただいているビゴ東京の藤森さんのご令嬢もも子さん、オフィシエにはたまご社の松成容子女史や株式会社マンジュトウの堀田大氏がいらっしゃって、お目にかかれてとても嬉しかったです。堀田氏は、フランスチーズ鑑評騎士の会日本支部の叙任式・祝宴が10数年行われていた日本青年館のレストラン東洋軒（美食家の間で評判でした）の総料理長でした。私のフランス料理の師でもあり、素晴らしいフランス料理をお教えくださり賞味させていただきました。

名誉シュバリエの吉澤公寿氏は、現在グリーンキャブグループの常務取締役及びマリーローランサン美術館の館長・理事で、暁星学園から立教大学フランス文学部、そののちパリ第9大学で文化金融・経済・マネジメントの研修を修了され、芸術文化勲章シュバリエを叙任されているご経歴、とてもフランスに造詣の深い方です。実は他のお食事会でテーブルをご一緒させていただいておりました。

「オニ ソワ キ サン フロマージュ プレタン ア ボンヌターブル ロンドル オマージュ(食卓に Fromage を供せずして美食を装うなかれ)」を全員で唱和し、株式会社久田の久田寿男会長によるご発声で、黒ブドウのみでつくられたシャンパーニュで乾杯！祝宴の開始です。



この日のための特別なお料理とともに会話も弾みます。メインディッシュをいただいている終盤にさしかかるところ、村山理事、谷本理事と榎田理事、吉澤名誉シュバリエも加わりオッソー・イラティの Cutting ショーが楽しく行われました。1980年に AOC を取得したバスク地方のイラティの森

とオッソーの谷で作られる羊乳の AOP。羊乳独特の甘く濃厚でバターのような香りとキメの細かい滑らかな洗練された食感、凝縮した旨みはまさに、熟成も香りも味も極上の一言に尽きます。ONETIK 社の製造と熟成とのことでした。

2017 年度の「松平博雄賞」を受賞されたのはメルティングポット代表の佐藤陽呂美女史！おめでとうございます。1991 年から 16 年間、11 月 11 日のチーズの日で開催されるチーズ業界一大イベント「チーズフェスタ」の裏方として企画・サポート、フランスのみならず国産、アメリカ他世界のチーズの普及に貢献し、さらには 2017 年 12 月からは自らが地域密着型の家庭向けの料理用チーズに特化したチーズショップのオーナーとして、これまで以上に意欲的に地域の方がたにも細やかにチーズの魅力を伝えていくというパワフルな女性です。



理事の皆様、総料理長が相談されご用意くださった特別なお料理、企画、会にふさわしい Fromage とワイン---楽しいお仲間たちと共に過ごす時間はあっという間に過ぎてしまいます！本年も新叙任者の皆様をお迎えできたこと大変うれしく存じます。常に Fromage のある食卓に感謝するとともに、私自身これからもフランスチーズ普及のために貢献していく所存でございます。新叙任者の皆様おめでとうございます。この日のためにお世話になったすべての皆様に感謝を申し上げます。

